夕刊
京城日報
發行所 京城日報社

政府と與黨は緊張をゆるめず
和戰兩樣の策戰で對抗に決す
本黨との握手は疑問

【東京電報】政友本黨の分裂により政府および憲政會は一層本黨との提攜を確信し休會あけと共に政策問題の協定に入る段取であつたが本黨の紛糾は今後もなほ脫黨者を生ずる形勢にあるより憲政會も其の動搖の結果は議會の大勢にも影響しかつ床次總裁としても一人政府との提攜投合のみを強調に主張する時は更に紛擾を惹起する恐れあるより或は機宜に方針を變更せざるべからざる狀勢にあり從つて政府および與黨も徒らに本黨との握手を根本として對策に腐心する時は不測の事態に遭遇してその進退を過るの重大難題せざるやも計られずこの際緊張をゆるめず個々和戰兩用の策戰を取り與黨代議士に對してもこの意味の訓示を與ふる必要ありとなし來る十日前後政府と黨幹部の協議會を開き對議會策につき協議するはずである

名の入黨者を得て結局三十名をうるものと觀測してゐる

本黨は政策本位
妥協や互讓はせぬ

【東京電報】政友本黨は脫黨防止と今後の結束のため年末から年始にかけて最高幹部は各自往復して意見を交換した外川原幹事長を初め幹部の多數は床次總裁を訪問して對議會策その他について意見を重ねたが總裁は役割監理委員その他本黨の掲げた政綱政策をもつて政友會と政府を向ふに廻して堂々對戰する方針で妥協や互讓をする考へはない政策問題で政府が解散するなら寧ろ望むところであると決然たる態度を示したので各幹部も非常に意を強ふしこれがため脫黨說を傳へられた二三有力な幹部も脫黨を思ひ止まり、又動搖すべしといはれた一二の地方も結束がとゝのつたが同時に床次總裁が解散を覺悟して政策本位を強調する以上政府が讓步せざる限り今議會の解散は必死の勢ひだとの說が本黨內に高まつてゐる

同交は結局卅名
木下、一宮氏も參加

【東京電報】本黨における二十二名の脫黨以後注目されつゝあつた木下謙次郎一宮房次郎の兩氏は愈いよく連袂脫黨を決意するに至つたのでかくと知つた床次總裁は使に引とめ運動を開始し元田肇氏も總裁の意を受けて極力留黨運動を續けてゐるが兩氏の決意固まる所かたく脫黨を聲明し然る後同交會に入るはずであるなほ同交會側の觀測によれば本黨よりの脫黨者は二十七名の豫定にて無所屬より數つて再度無產政黨樹立運動を起こすこととなり來る十三日その第一回協議會を大阪中の島公會堂に開くこととなつた同協議會は勞働黨を禁止した當局の眞意も判つたので今度は余程愼重に一切の左傾團

左傾團體を廢止して
第二無產政黨樹立

【東京電報】さる十二月一日生まれでた無產政黨が結黨式後僅二時間で當局から禁止されるや政黨樹立の提唱者であつた日本勞農組合幹部を中心に九州幹部はごく秘裡に會合して第二無產政黨を起こすことを約して分れたがいよく この九州幹部があらたに提唱者となり左傾色彩を廢止して國體に合法的に進み對照を政治思想の低い無產大衆に置いてこれを綱領の基本とする模樣である

訪歐飛行士
敍勳の御沙汰

【東京電報】大成功裡に訪歐飛行をすまいかうした左記四飛行士に對し遞信省においては豫て敍勳方を奏申中なりし處四日付左の如く敍勳さる

敍勳四等旭日小綬章 操縱士從六位勳五等功五級 安邊浩
敍勳六等旭日章 操縱士 河內一彥
敍勳七等青色桐葉章 機關士 篠原治一郎
敍勳七等青色桐葉章 機關士 片桐庄平

京城本町二 發賣元 貴生堂藥品店 電本一三七

聖上愈よ御平癒
兩陛下お揃ひにて十日頃
沼津へ御避寒

【東京電報】聖上陛下御不例の爲め沼津御用邸行幸の事なく五年振りにて兩陛下には宮城に初春を迎へさせられたが其後聖上の御容態は御平癒に拜されるので來る十日頃御揃ひにて御避寒の爲沼津御用邸へ行幸啓あらせられるやに洩れ承る皇后陛下には新年の御講書始めと歌御會に臨御の爲一旦還啓あらせられ照宮の御降誕五十日祭に宮中に於て初めての御對顏遊ばさるゝ由である

張作霖から
遺憾の意を表す

【東京電報】遼陽卅一日發 張作霖は時使として町野顧問を關東廳および關東軍司令部に派し今回の騷亂の經過府當局にまで脅威を與へたる事につき深く遺憾の意を表した

パ運河通過
船舶數

【パルボア三日發電】千九百二十五年度のパナマ運河通過船舶數は四千七百七十四隻で通過料收入は總額二千百三十八萬ドルに達した

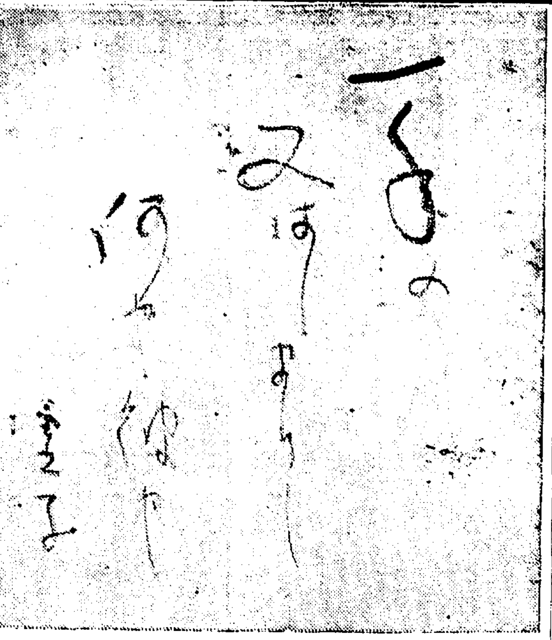
伊國皇太后
いよく危篤

【ローマ三日發電】イタリー皇太后マーガレタ陛下の臨終切迫し兩陛下はじめ各皇族は皇太后の御住居なるボルデゲーラに急行した

支那動亂の概觀 【三】
長谷川基

この時にあたり、中央政府は斷に停戰命令を發したけれども、實力を有せざる空文の通告は時局收拾に何等の威力を有しなかつた。しかし反奉派として一時に起こりたる諸方の首領といへども決して張作霖の倒壞が唯一無二の目的にあらず絕對擁護の關係でなかつた腹底を探れば自ら代つて天下に號令せんとするの野望に燃えて居るのであるから作霖倒るれば王霸爭の間に必ず爭鬪の起るが避けられ得ないので、而かへつて直隷派同志の爭鬪を避けるに足まつて居る、ゆゑに應ひに形勢を觀望して警戒より顧色を鮮明にするを避け戰々として兢ずべき機會をねらひつゝある處に戰國策士の非常なる苦心があつた。例へば孫傳芳は吳佩孚の奮起によりて河南における自己の地盤を擴張せらるゝを恐れた、馮玉祥は奉天の態度未だ崩れざるの時機、過早に飛び込むを不利として容易に本據を出でなかつた、孫傳芳は既述の通り江蘇をその手に收めたる以上進んで北上して馮大の役目を務むることを欲しなかつた、吳佩孚はハンカオまで前進したけれども、河南における彼の舊部下は案外に冷淡であつてやゝもすれば討張の秘策は馮玉祥の胸裏に藏せられてあるの感を抱いた、しかして張作霖にしても大軍の出動を命じたが孤獨の尾をとらふるの好機を逸したるのみならず、續々南下するに從ふて統帥を掬さるゝ形勢となり容易に動くことが出來なかつた。こゝにおいて中央政府の停戰勸告は案外まがり成りにも成功して戰雲四散するかのやうに見へたけれどもそは嵐を呼ぶ一時の靜けさに過ぎなかつた、奉天方面にありては戰機刻々に熟して張作霖對郭松齡の衝突は到底免るべからざる形勢となつた果然十一月二十三日奉軍將郭松齡によりて反亂が企てられた、この叛旗には、馮玉祥と了解のあることと從ふてその陰にかくれたる人形師のあること勿論である、こゝにおいて馮玉祥は手兵を率ひ張家口を出で、初めてペキンに入つた、これ十一月二十五日である實に彼の出處進退たる恰も妖怪の如く、さきに孫傳芳をもつて奉天の地盤を切り崩し、今や郭松齡をもつて內部の反亂を惹起せしめ、國民軍の手により中原の雌を爭はんとしつゝある。語にいはく天の時は地の利に如かずと、彼が北京の西方樞要の地點に蟠居しその一擧手一投足は政海に何等かの波紋を惹しつゝあるゆゑんのものは、一に優越なる地利を獨占してをるからである。さて十一月二十三日錦州において郭松齡は張學良の部下八萬の精兵を率ゐて叛旗をたてんとしたが、本能寺に到着せざる以前途中において其の企圖を觀破せられ一時失意の悲態にありしも、奉天の混亂に乘じて一擧に城下に迫らんとして北進を開始した。郭松齡に屬したる八萬の兵は張學良陛下の精銳であつて奉天軍の骨幹と稱すべきものである、從ふてこの軍隊が反亂に組したるとは奉天軍の致命的打擊であつた、若し郭松齡にして豫期の通り列車に搭じて不意に奉天を襲ふたならば、必ずや反謀に成功したであらう、又若しその企圖が暴露したるあかつきにおいても急進して奉天に迫りならば、奉軍の結束みだれたるに乘じ容易に時局の主人となることが出來たかも知れぬ『我大事を成すは今夕にあり』かの電光石火的の反謀も旬日を經過するにつれて不利の形勢に陷り、遂に最後遼河の決戰において奉軍の戰略的包圍と正面の反擊とにあふて鎧袖一觸悲慘なる敗北に陷つた。

この反謀戰において特に注意すべきは、張作霖の決心が案外強固であつたといふことである。彼は城を枕に討死するの覺悟を表示して危惧逡巡する群議を排斥した、かゝる場合に臨み彼の態度は時局の上に大なる影響あること勿論であるゆゑに『かゝる時こそ命の惜からめかねてなき身と思ひ知らずは』とは戰に臨場鬪士の心境を詠したるのみにあらず將師たり統帥



一年の又はじまりし何や彼や　高濱虚子氏試筆

英土協定
近く成立せん

【スタンチノープル四日發電】トルコ政府はモスール油田問題に關してイギリス、トルコ兩國間に和平的協定を遂ぐることを英國より提議せるに對し喜んでこれを承諾する意向を有してゐる、もつともトルコが承諾しうるあたらしき國境を前より先に確定することが先決問題であると回答した

國境經濟會議

【ゼネヴア四日發電】國境經濟會議開催につき、國境聯盟の準備委

滿洲派遣兵歸還
七八日頃に引揚げ

【東京電報】陸軍省公表＝第四師團等より滿洲に派遣し關東軍の兵力を補充せしめられたる部隊は同地の狀況平靜に歸したるを以て內地に歸還せしめられ本月七、八日頃より輸送に着手し各その現駐地に復歸せしめらる、右により滿洲に派遣せられたる補充兵力全部の撤退を終り關東軍の兵力配置は全然舊に復するに至る

間島滯貨
十二萬袋に達す

【城津特電】天圖輕鐵の輸送力貧弱なる爲支那馬車輸送にて滯貨を緩和せんとするもこれとて微弱にして間島における滯貨は益々甚だしく今や龍井六萬三千局子街三萬頭道溝一萬五千銅佛寺八千朝陽川六千合計十二萬二千袋に達し今日までに滿洲より移出されたるものは僅に卅八萬袋に過ぎず間島の輸出可能量七十萬袋と稱せられつゝあるをもつて未だ五十萬袋は手もつけられて居ない有樣であるこれが爲關係貿易業者輸送業者間にはこの際五萬圓位を醵出して天圖輕鐵を後援してはとの議も出で目下間島滯貨の解決に寄り〳〵協議中である

會頭部長決定

かねて認可申請中の京城商議の會頭以下役員は十二月二十八日付認可の指令に接したので各部長は左の通り決定した

會頭 渡邊定一郎
副會頭 西崎源太郎
同 韓相龍
▲常務員
工務部長 陳內茂吉
商業部長 戶島祐次郎
金融部長 古城龜之助
交通運輸部長 李鳳鎬

商議初役員會

京城商議の役員の決定を見た京城商議は來る八日午後二時より初役員會を開催し左の議案協議する事になつた

一、豫算編成綱領に關する件
一、朝鮮鐵道敷設線路に關する件
一、退任評議員表彰に關する件

安取株式（新甫）

四日前場

	寄付	大引
當限	九、四〇	九、八〇
先限	九、六〇	九、〇〇

鎭平銀（新甫）

	寄付	大引
當限	一、七六一	一、七六五
先限	一、七六三	一、七六六

對山錄

◇本黨身內を失ふてから急に强がる。しかし無理に解散を强調するのも風雅とはいへない。

◇米國財界にも年頭に樂觀氣分があらはれた。少し行き過ぎたといふのである。日本の樂觀氣分は行かな過ぎるがゆえだ。つまり日米の比は八と十二の比。

◇內地の初荷はにぎはふた。朝鮮のそれはかへつてさびれたといふ。このへんは逆年らしく行つてもらひたきもの。

◇虎綱を負ふの形は壯烈な感があるが負ひ放しに化石する財界など見たうもない。

◇大相撲番付發表。ああ、相撲と稱するもの、今でもあつたのかい。

天氣豫報（五日）

晴一時曇

溫度	
本日正午	零下一三、八
四日最低	零下一九、〇

七曜の劍 【百四十三】
渡邊默禪作

古寺にすむあたまのまるい白たぬきが、たぬきの話でたぶらかして、かあいゝ小うさぎを取つてくはうとする、まるでお伽話のやうな遊月のこんたんは、苦もなくお龍をわなにひつかけて勘平の手紙を書かせることになつた。

『さゆつくりお書きなさいまし』

料紙とすゞりとをあてがつてやつて、

『成るたけ先樣に貴女のお心が分るやうに、くわしくお書きになつたがよろしうございますよ』

『はい。さう致しませう』

勿論良人に當てたものであつた。お龍は脫籍後の家族の內情から、自分の苦しい胸中を綴けてきた心持ちも、書けるだけはと細やかに筆をはこぶうちに、今更のやうな悲さがこみ上げてきて幾たびかなみだを拭ぬぐつた。それから途中で花魁にとらへられ千住廓に預けられてゐる顚末を記し、一時も早く今の苦境から救ひ出してくだされ晴れのお目もじが叶ふやうに、然るべく御工夫を――と結んだ。そして奧には『良人樣、龍より』と書き込み、注意深く二重の封にした。が、封の裏に本名を現す譯には行かず、どうしようかと思ひ惱んだ末『廣島秋之助、勝次郎』と書いた。秋之助は良人の幼名であつた。

『お待遠さま。お待たせ申しました。どうぞこれを二條下るの米澤屋敷へお持たせ下さいまして、紀州藩家中の侍がまゐつてゐるはずですからその者へお渡し下さるやうに、そして御返事をとさう仰しやつていたゞきたう存じます。もし紀州の侍は居るが、秋之助と申す名前の者は居合せないといふ挨拶でございましたら、とにかくその方へお尋ね下さいと仰しやつてくださいますやうに』

『承知いたしました。ぢや、上杉樣のお屋敷なんでございますね。へえー、さうですか。早速使に持たせてやりませう』

尼はその手紙を受け取つて座敷を立つていつた、誰か使をいゝつけて出て行く氣配だつた。それからの二時間ばかりは、お龍にとつて娛しいやうな、こわいやうな、嬉つたいやうな悩みの時だつた。

やがて夕飯頃、使が戾つて來た。尼はすぐとお龍を呼んでいつた。

『お生憎さまでしたのよ。御新造さん。ゐらつしやることはゐらつしやるけれど、たゞ今先方の方へとお出かけでお留守だから、御返事は歸つて來てから持たしてやると、さういふ取次の口上だつたもんですから、歸つて來たと申しますがねえ』

『あら、左樣でございますか』

お龍は失望した。

『でもようございますわ。御本人の手に渡るものなら、遲かれ早かれ、そのうちには御返事がまゐるでせうから安心して待つてゐりやいませ』

お龍もさう思つて自ら慰めた。そして、今にもなつかしい良人の音信に嬉しいおとづれを聞かれることかと、そわ〳〵した氣分に自分を躍らせながら、立つたり坐つたり待ちあぐんだが、その夜け遂に何の音沙汰もなかつた。

× ×

新選組の土方歲三は、路地に潛み暫を驅け出して土手を四五町も走つてゆくと、前方に只一つの黑い人影の動いてゐるのを、あわい星明りに見出した。その傍には繫つちよに繫れた一匹の獸があつた。篠吹く夜の比叡颪に、血なまぐさい氣がさつと立つ。

『何者だッ！』

人影から鋭い聲が迸つた。刀の血ぶるひをするであらう、一揮、二揮、ぴかり〳〵と青い閃き。その輪廓、その聲は正しくそれと歲三は瞬に感じて叫んだ。

『倉氏御無事かッ。身內は土方だ』

『おう。これは……』

つか〳〵と歲三が立寄る足にグニヤリと踏つけたのは、今きり伏せたばかりのなま〳〵しい死がい――それが、そちにもこちにも。

『やアきりもきつたり。さて〳〵お美事なお手の內……して〳〵かの鐵眼は』

『殘念にも取逃しました』

『討洩らされたか。や、それは』

そこへ宙を飛んで驅けつけてきたのが岡ッ引の豐吉と同心の木村と兵太の三人であつた。

本日四頁

恭賀新正

三井合名會社朝鮮農林部
京城長谷川町一一五
電話本局四一五番

朝鮮火災海上保險株式會社
京城府黃金町一丁目九十七番地
電話本局長三一〇番・二三二番
振替貯金口座京城一一九番

資本金五百萬圓
日本共立火災保險株式會社
一、當會社は確實を本旨とし御便利に業務御取扱可申候
一、當會社は損失を公平且つ迅速に支拂可申候
電話又は御一報次第社員參上可仕候
本社 東京市京橋區南紺屋町二六 取締役會長 專務取締役 原錦吾
京城出張所 京城府本町三丁目三九番地 電話本局一五六六番 出張所長 三鍋才次郎
鮮內代理店所在地 京城、平壤、仁川、釜山、大邱、大田、鳥致院、木浦、光州、群山、全州、鎭南浦、元山、咸興、城津、新義州、羅南、沙里院、海州、兼二浦、會寧、淸津

大田木材商組合（イロハ順）
加藤材木店
吉原材木店
富士材木店
明田材木店

大田土曜會
東洋拓殖株式會社大田支店
株式會社朝鮮殖產銀行大田支店
株式會社郡是製絲株式會社大田工場
漢城銀行大田支店
大田電氣株式會社
大田金融組合
忠南無盡株式會社
忠清煙草元賣捌株式會社

江景電氣株式會社

大田郡廳
郡守 伊關重俊
庶務主任 渡邊和四郎
財務主任 中島鹿一

鐵道（大田）
岡村正雄
光永喜太郎
大村宗春
中島庄三郎
橋高輌之祐

儒城（舊溫泉）
儒城溫泉株式會社

大田商業學校職員一同
大田尋常高等小學校職員一同
大田第一普通學校職員一同
大田第二普通學校職員一同

東本願寺の守本尊 阿彌陀のからくり
高田の稻家に秘藏さる

【高田電話】東本願寺の守り本尊なる阿彌陀が同寺になくして他にある事を高田市にて判明した 即ちその本尊は高田市の稻家稻男氏宅にあり右彌陀佛は今尚ほ稻家に存置しあるもその事實を秘しをり本願寺では今なほ稻家に對し供物代を贈りをるも阿彌陀佛は同家の祖先稻金左衛門藤原俊が仕へてゐた藤原が嚴命を受けて東本願寺の佛像安置の職に當たりをりし際贋佛はその佛像を本願寺より借出しのあつき爲免許狀と共に下賜されしことが判明せるも一說には盜み出したるものといはれてゐるがこの佛は高さ八尺の名作であると

覆面强盜
各所に出沒

【平壤電話】客臘三十一日午後十一時頃平南大同郡金祭面孝里七〇李鶴鍵方の表戶を汁破つて覆面した二名の强盜が闖入しピストルを李の胸元に擬して、脅迫し現金五十圓を强奪逃走した同夜同郡在京面龍淵里林德宇方にも同樣拳銃を擬へた二人組の强盜が襲擊し現金九十圓を强奪して姿をくらました犯人は同一人とにらんで大同署では目下全力を傾けて犯人の搜査に步を進めてゐる又二日午前二時頃平南江西郡東津面靑山里金昇榮方の表戶を破つて一名の壯漢が闖入しやみの中に朝鮮食刀をきらめかし金を强要して現金十六圓を强奪して折柄の闇にまぎれて逃走した

講演會延ぶ 東京に本部を有する亞細亞協會主催の大アジア問題講演會は五日夜本社樓上來號において開催のはずであつたが講師その他の都合にて延期する事となつた

みなし兒達へ
お鏡開きのご馳走

五杯六杯とおしる粉を平氣で平げる、山のやうに積まれたみかんがへつて行く、おなかが出來ると、なごやかな蓄音機のせん律につれて唄りだす、舞踊、遊戲、唱歌と、いやはや、大へんなお賑いである——四日午後一時から府立大門通りの京城府内で開かれた救世軍育兒ホームの孤兒への丁子屋のおふるまいである——同店では去る十年から毎年缺かさずこの孤兒を店内に招いて正月に供へた鏡もちをおしる粉にしてお馳走してゐるので、この日を孤兒達は指折り數へて待つてゐるといふ有樣であり、四日も朝御飯なんか拔にして來てゐるといふ無邪氣な有樣で店内總出の御接待に、小さな顏をほころばして喜んでゐた、つき添つて來た救世軍司令官も、鄧氏長も、この日ばかりは子供の心にかへつて、同じやうにおしる粉のおかはりをしてゐる——いつもは洋服雜貨で埋まつてゐる店内が、子供の國のやうになり、顏つたおもむきを呈してゐる、そして夕ぐれ、ホームに歸る時には、キヤラメル、鉛筆一ダース、タオル、雜記帳、みかんを各々お土産に貰つて、かうして孤兒に樂しい一日がくれた（寫眞は當日のお客）

開城市場の燒あとし

爆彈みだれ飛ぶ
活動見物中の爭論から起つた 內鮮人數百名の物すごい大喧嘩

【津電報】三重縣木本町明治座見物中の爭論から起つた內鮮人數百名の爭鬪は三日夜七時頃いよいよ激烈となり鮮人側はダイナマイトを投げつけ危險極まりなく一部はトンネル內に退却したので警官隊はトンネルを包圍し表口と裏口を鎖し四日に至つたが鮮人はなほもダイナマイトを投げつゝある木本警察署內紀伍巡查の外尾張熊野神宮驛からも應援を得て警官約百名でトンネル內の鮮人檢擧中であるが木本町民は鮮人に對する激昂甚だしきものあり死亡者は內鮮各二名重傷鮮人一名內地人二名で事の起こりは明治座で活動見物中の鮮人三名に他の鮮人が面會に來たが要領を得ず、木戶口で座主外二名と鮮人と爭論の揚句座の者と鮮人がきられ犯人檢擧で一先づ解決したが翌三日午後四時右双方の者が道で出會ひ喧嘩の蒸し返しとなり內地人側は仲仕等鮮人側は土方五十余名の總動員となつたのである

日光ホテル全燒
投宿中の米觀光團は金谷ホテルに避難

【宇都宮電報】四日午後八時半日光町日光ホテルより發火し食堂を殘したのみで本館二階建全部を燒失して漸く鎭火した當日は米國觀光團百余名の中三十名投宿してゐたので一時非常な混雜を呈したが幸ひ金谷ホテルに避難して無事なるを得た損害および原因は目下取調べ中

全燒五十戶
市場から燃え出した 開城の大火

三日夜午後十一時四十分頃開城南本町百四番地開城公設市場より失火し三時間に渡り延燒、四日午前三時鎭火した市場内の商店を全燒して鎭火した、家屋は朝鮮式平家にんじんおよび日用雜貨品の商店である、同市場は開城松都面事務所の經營にかゝり燒失家屋五十戶損害約五萬圓、さいはひに死傷者はなかつた原因は目下警察署において取調べ中であるが市場内の金某方が火元で失火らしい、近ごろ開城では珍しい大火であつた

宮中鳩杖
差許さる 東鄕元帥と久保田男に

【東京電話】元帥東鄕平八郎伯爵顧問官久保田讓男は今年八十歲の高齡に達したるを以て畏き邊りにては特に御優遇の御召を以て宮中鳩杖を差し許される事となり四日午前十時宮內省に各代理出頭拜授した

東京相撲新番附
五日早朝發表さる

【東京電報】東京大相撲春場所番附は五日午前六時發表された

東方		西方	
張出	若葉山	張出小結	山錦
橫綱	西の海	橫綱	常の花
大關	太刀光	大關	大の里
關脇	能代潟	關脇	出羽嶽
小結	淸水川	小結	光風
前頭	小野川	前頭	楢錦
同	三杉磯	同	常陸岩
同	錦洋	同	福柳
同	淸瀨川	同	留峰
同	眞砂石	同	若常陸
同	射水川	同	白岩
同	一ノ濱	同	柏山
同	大蛇山	同	外ケ濱
同	朝響	同	綾錦
同	琴ケ浦	同	鶴ケ濱
同	吉野山	同	常陸島
同	池田川	同	綾鬼
同	若太刀	同	槍ケ嶽
同	矢筈山	同	常陸嶽
同	太郎山	同	伊吹山
同	阿久津川		
同	東關	同	鬼風

幕下

同	筆六山	同	稻瀨
同	古賀浦	同	木矢崎
同	小田山	同	岩見嶽
同	晴ノ海	同	泉洋
同	新海	同	朝嵐
同	若木山	同	稻妻
同	佐賀山	同	淸の岬改
		同	茶山
同	津輕富士	同	磯嵐
同	信夫山	同	玉熊
同	開月	同	羽黑山
同	霜ケ梅	同	寶川
同	白波	同	白根山
同	增ケ濱	同	星兜
同	岩木川	同	矢筈山
同	劍山改劍嶽	同	雷海

新番附評
出羽が事實上の橫綱

◇新番付を一覽するに出羽の海派と反出羽の海派との妥協に依る結果として新味もなく平凡で新進拔擢老朽淘汰と云ふ苦心の跡を見ないが第一に淋しく思はれるのは栃木山の名が除れたことである

◇しかし明治以後第一の巨人として知られてゐる出羽嶽が九勝二敗の好成績で關脇に上り此の場所の實際の橫綱として人氣の中心となるであらうから栃木の引退に依る損失は充分につぐなはれるやうに思はれる

◇東方にあつては橫綱西の海と大關太刀とは前位置のまゝである が能代と若葉との位置交換は前場所の能代が八勝二敗一分若葉が七勝四敗であつたから當然ではあるが今場所能代、若葉の

大關爭ひとなるであらうから兩者の働きは見ものであらう

◇西方は常の花が橫綱を保ち大の里が大關にあるが關脇に出羽嶽を控へてゐるので見劣りがしてならぬ、出羽嶽は依然春場所否る力士であるから關脇では尙不足な位である

◇前場所の關脇で病氣全體から三役をすべつた常陸岩は氣の毒である、前場所に出場さへしてゐたらもう大關にもなつてゐたゞらう

◇しかし出羽嶽とならんで今場所の西方を背負つて立つのは常陸岩で出羽嶽が事實上の橫綱なら常陸は事實上の大關である西方新入幕に妙錦と伊吹山があるが先づ中堅を守る位でさほど顧みにはならないであらう

只一軒のへび屋さん
京城の內地人だけで一年に一萬匹のまむしを食ふ 蛇捕りの內しよ話

あの町——この町
——【九】——

京城廣しといへども他に同業者がないたつた一けんの商店といへば町內自慢番付の三役とまではゆかなくても前頭の二三枚目に威張れるであらう。その店は本町四丁目にある。商賣はゝと聞はれるとあまり自慢も出來ないが太田といふまむしのくすり屋だ、店頭にはまむし、しまへび、くろへび、さては京城からはるぐ朝鮮くんだりまで送られたハブまでが瓶にそのまゝアルコール漬となつて入れられたり

◇……黑燒に されたりして陳列され、通る人の度膽をデングリ返してゐる、娘さんが顏をそむけて小走りに通りすぎる、と思ふと立つたまゝヂーッと見いつてゐるものずきもある、あの氣味の悪いながら虫をくすりとはいひながら服用するなんて余程の勇者でなければできない藝だと店主に聞くと「買れますかつて？どうして薬時らしいもんですよ、朝鮮だけでそれも殆ど內地人が一年に一萬匹からのまむしのおかげを蒙つてゐるんですからね」とまむしくすりで常用者のおかげでりんごのやうに顏色の好い精力の張り切つたやうな店主が

◇……小氣味 よく話し出す、まむしやしまへびを捕りに行くのには六月から九月に掛て行くのである、冬の間はいはゆる冬眠で影形も見つからないからである朝鮮で最もまむしの捕れるところは江原道で殊に鐵原附近に多いさうで北向きの濕地には必ずゐるさうで場所は殆どきまつてゐる、今年は同店から六十人も鮮人を使用したが一人當たり少くとも十匹以上捕らぬと商賣にならぬ（同店ではまむしを九十錢から一圓五十錢位でうつてゐる）とり方はみなゝれたものでグヮとにらみつけるとまむしが逃げられなくなるそしてなほもにらみつけながら棒でまむしの頭を押へてあつかへるのを躊躇なく捕へるのであるといふがあまり「躊躇なく」でもない仕事だが仕事に馴れすぎて油斷すると咬まれることがチヨイくある

◇……醫者に といつてみても山の中だ、とても間に合はぬ又間に合つても高いお金を取られるだけで引合はぬそこで彼等一流の荒治療をやる、まづ咬まれた附ロを小刀で切つて血を絞りだす次ぎにその傷口へ少量の火藥を押込みそれに火をつけて燒いてしまふのである、隨分乱暴な話で痛むがこれが一番手つ取り早く安全な消毒法ださうである、かうして年に三萬匹は樂に捕れる、その內二萬匹は內地へ送り殘りの一萬匹が同店で鮮內にられ捌かれるといふのだからすさまじき次第なりである朝鮮のまむしは內地の蝮蛇しき殺毒に多少違ふところもあるが化學的成分には何等異るところがないさうである、これまではまむしはお猪だかりをほしたりほしまむしといつて乾燥きにしたりまむしの黑燒きにして使つてゐたがこれでは全けにして使つてゐたがこれでは全効力を發揮できず丈夫形が殘つてゐたり

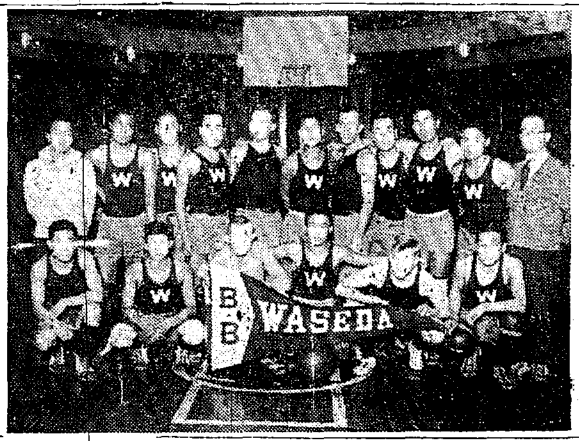
◇……臭味が あつたりして服用したい人も薄氣味惡さに敬遠する人が多かつたが殆どこの頃では二重鐵板の釜で眞氣燒きにしてゐる、これを碎いてカプセル入りにして服用するのだから薄氣味の惡いも何もなく平氣でのめるやうになつた、こゝまで話を續けた主人は『一つ生きた奴をお目にかけませう』とデツカイのを眼の前に突きだされた時にはヒヤッとした睨いてゐるかゐないか分らない程だが、どう力んでみても薄氣味が惡い、イザとなれば逃げたすの身構で洋服となりながら平氣な顏をしてゐると今度は『この牙がスポイドのやうになつてゐて毒を注ぎこむのです』とまむしの口を開かして犬歯の様な桃色の牙を見せつけられた時はいよ〳〵完全に降參した、長居無用と逃げだしたくなつたが肝腎のまむしの

◇……効用を 聞かなくては佛作つて魂入れずだ勇を鼓して更は聞いて見るとまむしは心臟胃腸、神經衰弱、貧血、等、々等、いまへびが肺病、ろくまく等、々そくろへびも等、々、々、大しもかなり多かつた、それによつて甚だしく多くふびても入れた愛用者が激増した又鮮人は昔からまむし一匹に水一升それを煎じて二合位にしてのむさうであると主人の話は長蛇の如くなか〳〵つきない

正月四日間に卅萬のお客
京電の收入一萬五千餘圓 徒步の廻禮が多い

今年お正月は稀な雪は降つたが、申分のない天氣がつゞきお年始客もかなり多かつた、それによつてあらはれた京電市內外線のにぎやかさをみるに、元日七萬四千三百九十一人、二日、七萬五千八百九十八人、三日七萬百卅八人、四日七萬六千百八十二人でその總收入は一萬五千六百九十一圓である が十二月中の一日平均乘客數八萬八千人からみると平均一日二萬人以上もへつてゐる、これは府內各學校休暇中であるのによるが年始客の多くは概して電車に乘らずにまはつてゐるのにあつて電車乘客の統計から見たお正月の府內の景氣は多少閑散をまぬがれない

◇



早大籠球選手と在城外人チーム

籠球戰
二五對一八 早大優勝

早大對在京西洋人チームの籠球第一回戰は四日午後八時卅分から中央キリスト敎靑年會室內運動場に於てレフエリー金永述氏、アン、パイヤーフイツシヤー氏によつて開始された。早大籠球部の來鮮は今回が始めて半島の斯界に多大の刺戟を與へ、折柄チラ〳〵と降り初めた雪を冒して續々とファンが會場に押し寄せ、多數在京外人の觀覽もあり盛況を呈した。前半は早大軍大いに奮ひ殆んど續け樣にゴールインし、富田のロングシュート淺野のフリースロー等殊に鮮かな技を見せ、早大軍は樂々と十四對五の優勢を示した、後半は最初交互に得點し互角の勢を示したが終り近くに從つて西洋軍奮起して續々ゴールインし應援も亦聲をからして絕叫を續け西洋軍優勢を保ち十三對十一で午後九時十分タイム、アップとなり結局二十五對十八で早大軍の勝となつた兩軍のメンバー左の如し

得點	早大軍		西洋軍	得點
8	淺野	LF	ケートン アビソン	10 0
4	鈴木	RF	アビソン マケニス	3 5
0	李相伯	C	フレンチ	0
5 0	富山 岡根	LG	ワレース	0
8	富田	RG	ベツカー	0
25		計		18

廣告

正月二日午後二時頃府外阿峴里八十五番地の自宅庭前にて（京城救世軍の借家）
一、十八金十六形時計一個
一、二十金製鎖十匁一個
一、十八金製磁石入メタル一個
右遺失致候條御拾得の方は御返還被下度御禮金として金五十圓御贈呈可申候
府外阿峴里八十五番地四號
円馬啓三郎

大田消防組 出初式

これより先き午前七時あけぼのの[illegible]同記念の撮影をなしそれより[illegible]を破つて[illegible]賑々しく[illegible]各消防[illegible]谷所において放水試驗ある[illegible]は[illegible]鐵の上第一第二の組は市中を練り[illegible]子のぼり勇ましく[illegible]庭に行[illegible]て立食の宴を張り盛會裡に午後三時散會[illegible]

永登浦

永登浦消防組は四日早朝出初式を擧行恒例により永登浦驛前より市內要所を廻り夜は盛大な新年宴會を[illegible]

鎭海

鎭海消防組の出初式は去る四日南辻の公園にて施行され[illegible]水龍玉を爭ふの壯觀は得もいはれぬ光景であつた、演習終つて例の[illegible]おいて出初式を擧行したが本年は[illegible]戰山消防組以來第十五周年に[illegible]

第百七師團は英國ウエストミンスター寺院から寄贈の世界的選手權の[illegible]を受けたるを[illegible]

恭賀新年

京城櫻井町一八七
野津集文堂
電本一七二四番

京城本町四ノ六四
和洋料理 一富士
電本三三五番

京城南大門通一丁目
瀨戶勝兵衛商店
電光化門五九五番

京城本町二丁目
御振替京城九七〇番
群書堂書店
電話本三二九五番
久田文三郎

京城府武德町八
菊田寫眞館
菊田一郎
電光一八三番

京城西小門町
私立京城女子技藝學校長
井上要二
職員一同

京城府明治町一丁目
瀧川銃砲店
長電本三〇二番

京城府本町二丁目八十番地
藪そば
電話本局九一二番

勸貯堂
平井時計店
京城本町一丁目
電話本局二二〇一番

開城小年刑務所
職員一同

開城
宮崎金藏
久野善二郎

平安南道龍岡郡
龍湖島漁業組合
職員一同

平安南道龍岡郡龍湖島
慶元一

京城府蓬萊町四丁目
東亞牧場
電話五二二番

京城本町二丁目
朝鮮總督府官報 朝鮮新聞大賣捌
町田新聞舖本店
電話本局一七三番

京城府水標町四八
町田新聞舖水標町支店
電話光化門一四一六番

京城府本町四丁目四八
町田新聞舖東部支店
電話本局五五二番

京城府漢江通一
町田新聞舖龍山支店
電話龍山五二一番
町田新聞舖淸凉里支店

電機ト寫眞機
御手洗堂
京城本町三丁目八
電話本局六六三番
振替京城六三番

京城蓬萊町
京城穀物信託會社
電話本局八一五・二五八二番

京城黃金町二丁目
電氣商 加藤商會京城支店
山田鈴太郎
電話長一四七二・八七九番

當廠材ハ品質優良ナリ
營林廠
森林 面積——二百萬町歩 蓄積——八億尺締
原木販賣高——十四萬尺締
製材販賣高——十八萬尺締
立木拂下高——八十萬尺締
落葉松ハ耐久力最優ル

仁川仲町 御料理 天狗 電話六番

仁川宮町 米穀商 青島商店 電話七〇九番

仁川本町四丁目 呉服 雑貨 古田洋品店 電話六四一番

租鮮驛長 岡本立巳

仁川新町三 米穀商 宮本平内 電話二六二番

仁川新町 傘提燈商 小紫商店 電話四二八番

仁川本町二 菓子商 龍榮堂 電話一五五番

仁川本町一 御旅館 花屋旅館 電話四三番

仁川宮町 御料理 漁野五郎 電話二四番

仁川驛前 運送店 依知川商店 電話八二六番

仁川 木村幸三郎

仁川宮町 白石商店

仁川濱町 中野谷庄太郎

仁川 鈴木勝二

仁川府仲町 日下部商店 電話六五六番

仁川本町一 雑貨商 小南商店 電話二六番

仁川本町四丁目 綿布 絹糸 雑貨商 森伊三郎商店 電話七一五番

仁川山手町 御料理 うろこ 電話六八番

仁川本町 共益社出張員 中村虎三

仁川 王成鴻

仁川本町四丁目 福島邦一商店

仁川本町 朝鮮繩叺會社 仁川支店

仁川寺町 産婆 芝モト

仁川仲町 内鮮人料理 南方商店 電話六六番

仁川宮町 御料理 三福 電話一七八番

仁川外里 鑄鐵 玉植商店 電話六五一番

仁川本町 藤木利右衛門 電話四〇番

仁川府内里一三二 朱命基 電話九四六番

仁川府外里一九八 金圭晃

仁川 松本要五郎

仁川宮町 會席料理 三吉野 電話四〇八番

仁川神社社務所 磯野勝見 葛谷峰三

仁川府宮町 仁川木材商會 電話三三番

仁川宮町 仁川氷組合 電話四四一番

仁川 安井鐵次郎

仁川府本町 星光商會 電話二一二番

仁川府栗木里 勤業所 仁川府海岸町穀物協會内 電話二二七番

仁川本町四 平野稻彦

仁川仲町三丁目 雑誌 文房具 化粧品 花井勤勞堂 電話五七八番

仁川本町 海陸運送業 一心組 電話七一四番

毛皮ナメシ致します 仁川府花房町 仁川製革所 電話一五九六

仁川宮町一七 陶器 漆器 村上直市商店 電話六一二番

仁川中華總商會

仁川 高橋謙三

仁川龍岡町 庄野支店 電話五四番

仁川 鬼頭兼次郎

仁川移出牛検疫所 伊佐山伊三郎

木浦三中井支店 岡地助治郎

内谷萬平

佐藤重治

村上直助

木浦米油組合

松井邑次郎

朝倉惣之助

松前義三

守田千助

木浦 甲種料理店組合

書籍 雑誌 絵はかき かるた 花札 トランプ各種 畑書店 電話六五番 振替京城二三八四番

木浦酒商組合

木浦榮町一八 ㊁木浦組

蓄音器 西洋家具 自轉車 銃砲火薬 木浦 丸岡商店 電話長二四 振替京城二三八六

木浦旅館組合（イロハ順） 三吉野旅館 柴田屋旅館 木浦ホテル

木浦 吉田組

木浦無盡株式會社

木浦醤油株式會社

木浦 旭魚市場

木浦海運株式會社

木浦穀物商組合

木浦 浦田仙三

木浦 貿易商 内谷萬平商店

木浦 飛鋪秀一

木浦 朝鮮製油株式會社

大阪商船木浦代理店 福田回漕部 木浦南海岸

木浦 朝日精米所

木浦電燈株式會社

多島農談會

益山郡春浦面事務所 職員一同

沃溝郡大野面 甲斐三二

益山郡咸悦面普通學校 職員一同

益山郡咸悦面 關商店

裡里 工友會一同

益山郡大場村 今村農場

裡里 木曜會一同

湖南線地境郵便所長 岡田彌四郎

全北黄登浦小學校長 古宗省一

全北金馬公立普通學校 職員一同

湖南線黄登 森谷農場

裡里 公醫 天誠堂醫院

全北黄登西成農場 崔秉冑

裡里 サツキ會

裡里 川本ゴム商會

益山郡八角村 齊藤元浩

益山郡春浦公立普通學校長 後藤戊夫

益山郡礪山面 藤原雅明 小野清美

平壌警察署長 佐伯多助

平壌料理屋組合

伊藤千平 井上改平 長谷川龜四郎 鳥飼生駒 齋藤欽二 廣瀬憲二

平壌公立小學校 職員一同

平壌南町 内田録雄

平壌貸座敷組合

平壌壽町 三根旅館 電話長四〇二五六番

平壌府叙賓里五十番地 箕城券番 電話六五九番

平壌府外 船橋里繁榮會

平壌本町六番地 鶴屋酒店 電話一〇二五番

平壌大和町六番地 各種製靴 旅行用鞄 各國毛布 岩野商店 電話五二四番

平壌大和町十二番地 各種製靴 旅行用鞄 各國毛布 岩野朝次郎商店 電話二三番

平壌大和町 自轉車 宮崎自轉車商店 電話長四四 振替京城一六八 船橋里 宮崎支店

職員一同

咸南高原郡廳

咸南新昌金融組合

咸南新昌 御旅館 新昌館

咸南新浦金融組合

咸南北青邑内 大黒屋旅館

咸南北青邑内 石見屋旅館

咸鏡南線俗厚驛前 鐵道局指定 花屋旅館

咸南北青郵便局 職員一同

咸南新北青 鐵道旅館 日用雑貨 富屋 鍋島宇吉

咸南北青邑内 専賣局派出所 島根一三

京城府漢江通十一番地電氣會社裏 小兒科 吉田醫院 醫學博士 吉田得次 電話龍山四八番

京城府竹添町二丁目一六五番地 土木建築請負業 中村繁作 電話光化門長三三〇番

京城櫻井町二ノ一三六 東京野一色電氣研究所 山川芳藏 電本二三五一番

京城府明治町一ノ八七 南株式仲買店 南源兵衛 電本一八五番

京城府長谷川町 古河電氣工業株式會社 京城出張所

京城明治町二丁目一〇四 北京料理 東海樓 電本二五二八番

京城湯屋營業組合

京城府林町一九〇番地 西川石炭商會 電光一六四六・一六七〇番

京城黄金町二丁目五六 太平洋海上火災保險株式會社京城支店 電本二五三九番

京城永樂町二丁目（西本願寺前） 文化美粧院 電本二六四一番

赤十字病院長 岩淵友次

京城黄金町二ノ九二 栗栖椅子店 電話本局三三三七番

京城南山町三ノ一九 殖産無盡株式會社 社長 藤野富次郎

京城府漢江通一六 長門組 電話龍山五番

京城消防組 組頭 小頭 小頭 總係長 總係長 總係長 田中半四郎 大石貞平 村山源七 荒谷庄太郎 松下義晴 佐竹太郎 河村小留吉 外一同

仁川 谷本茂三郎

仁川 吉岡久

仁川新町 朝鮮計理株式會社

海友會
朝鮮郵船會社代理店
尼ヶ崎汽船會社代理店
大阪商船會社出張所
澤山汽船會社代理店
川崎山下汽船代理店
瀬戸山水先事務所

京城西大門外阿峴里 大正製藥株式會社 朝鮮支店 電話光化門五一一番

帝國地方行政學會 會主 大谷仁兵衛 本部長 酒井與三吉

京城南大門通一丁目貳拾五番地 三國商會 土井誠一

咸鏡南道 發動機船同業組合

京城本町一丁目 平田百貨店 電本三六一九・三二八五番 清光館旅館部 電本三一四三・三九五〇番

和洋紙販賣印刷製本 京城南大門通り二丁目 土佐紙株式會社京城支店 電話長三二五番・四〇五番・三一七番 振替京城八五九番

釜山大倉町 釜山荷捌所 電話四二八番

早川堂看板店

仁川府仲町三 精米機 金庫 農具商 草刈農具製作所

仁川 島崎彦次郎

釜山水産株式會社

元山府仲町二丁目 會席 御料理 丸芳本店 電話六二・一五〇番

戀の淀君

【百三十五回】

松林伯知演
野口紅涯畫

徳川秀忠は茶をすゝめたお紅の方をちつと見たが、その美しさにいゝこつとしてゐる、それを見た供の廉政『何を御覧なされます』袂をひいた秀『オウ、小平太、いかい見ごとに咲き亂れなるな』からはいつたがお紅の方の美しさには知らず〳〵心をひかれる、お紅の方もこの殿御ならばと、思へば思はるゝ相共に見まもるひとみ、パッと合うとお紅の方は顔を染て他所に目を移した、かやうなことには甚だまん所は賢しい、ハヽアこれは兩人おもひ居るなと思召した秀忠は獨身お紅は夫をたづねて居るところ、殊にまん所は徳川中納言なれば前途も安堵、紅には似合ひの夫と思召した政『この者お氣に召しましたか』から秀忠に伺うた秀『ハッ』如何に秀忠でもかういはれては少しきまりが悪い頭をさげたその時政『お氣に召さば上様に申し上げお取持ちつかまつる、のう廉政、この由徳川家康殿によきに傳へくだされ』廉『有難き仕合せ、してこれなる女子は何人の娘にござりまする』政『オヽこれは淀が妹紅にござる』廉『なんと紅殿とツーム、これはもつての外、この廉政紅殿とあらば我君殿の奥方としては不承知にござる、かつて伝治彌九郎なる者の妻となりしもの、その彌九郎、戰陣に立つを恐れて卑怯にも腹掻き切つたる臆病者、左様なものゝ夫と定めし紅殿をなんで我君殿に迎へ參ることがなりませうや、さア、さ、左様な儀に異存は御無用、とくとお出でなされませ』秀忠は廉政が何んといはふと思ふ女の仲はなれたくはないが口に物いはせてことを立つ、あまり廉政の振舞が憎らしいので政所も一旦なく默してゐるその内に徳川主從はこゝを去つてしまつた、さアお紅の方は悲歎のなみだにくれた神くにして思ふ夫と心に定めしに廉政がために囚られ遂にこの事もならざるか、思へば果敢なき身と女心の狭はかにも隠し持つ懐劍取るより早くわが咽喉に突き立てんとする、それを見た政所政『これ紅、待ちや、何をしやる』紅『ハイどうぞお見捨下さりませ、何でこの世に生き永らえてをられませう、先刻は加藤様福島様にこの身ははづかしめられ今又廉政づれにこの恥辱モウこの世に生きて居ることはなりませぬ』政『何をいやるそちが心の内汲みをらば思ひにはせぬ必ず望み遂げさせ遣はす、決して短氣なことせまいぞ』これ加藤止めよ加『ハッ……まアお待ちなされませ政所様の思召しもござりまする』懐劍を取つてひろ〳〵と諫めました、お紅の方もこゝで思ひ止まつたものゝあまりにくやしい、それで泣きのなみだで姉の淀君にこのよしを訴へた淀『何と申す廉政ずれが左様なことを申したとエー不埒者めが、それにして秀忠にその方を遣はすと政所様がいはれたといらざる事、何と申さうと秀忠ごときにその方は遣はさず、実は家康ずれを心よくは思ひませぬ又政所様のなされ方も心にそまらぬ』大層おこつたしかしお紅の方は姉と政所の力で秀忠のもとに嫁したいとおもつた、ところが姉は反對、アーアつまらないこんな事ならあの時死んでしまへばよかつたとおもつた、しかし又思ひ返してくれるとの事いかに姉が反對しても、この事成就したならばおれは秀忠のもとへ行く何は兎もあれ政所様が望みの一縷とそれを樂みに日頃をおもひ止まつてゐる、さて廉政が讒言之を秀忠が家康に話した、心配をしたそれはお紅の方といふ淀君のいもうとを娶つたことそれに政所様の御前をも憚らざるは不屆き至極政所および淀君に家康がにらまれては家の安泰を缺くそれは何とかして穏便にすませねばならぬそこで廉政を詰ねたがどこへまゐつたか姿を見せません家『これ〳〵廉政を縛ねてまゐれ』かう家來にまうしつけた家來は家康の命とて誰方を縛ねやうやくにして廉政をさがしあてました

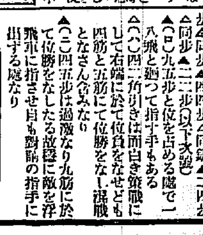
通信教授 **バイオリン尺八** マンドリン及ハーモニカ琴三味線 以上各訓規則書進呈十(郵物注意) 福岡市中島七〇 大日本家庭音樂會

將棋新手合 (二)

於釜山幸町武丁目 釜山棋友倶樂部

香引播△七段 矢野逸郎(釜山)
香相引▲七段 濟占木光治(東京)

(圖は前號指了迄の局面)



持駒(△矢野氏 ナシ ▲濟占木氏 ナシ)

▲七二銀△五八金△五二金▲九五歩(ロ)△四三銀▲四六歩△四二角(ハ)▲四五歩(ニ)△三四飛▲一四歩△同歩▲四四歩△同銀▲二四歩△同歩▲二二歩(以下次號)

(ロ)九五歩と位を占める處で一八飛と廻つて指す手もある
(ハ)四二角引きは面白き策戦にして右端に於て位負をなせども四筋と五筋にて位勝をなし混戦となさん含みなり
(ニ)四五歩は過激なり九筋に於て位勝をなしたる故穏に敵を浮飛車に指させ自ら對飛の指手に出ずる處なり

一月六日

(舊暦十一月二十二日)
▲五黄▲乙未▲友引▲破▲水曜▲柳

▼五黄▲心に迷ひを生ずる内に守つて和順敬財注意長と北と内が吉
▼六白▲目上の引立を受ける日好縁の廻るのは午後西と南と壬が吉
▼七赤▲嬉しい事が續く企業旅行求職縁談等上首尾西と北と巳が吉
▼八白▲吉運盛大の日思ひきり働いて巨利を占める良と北と丙が吉
▼九紫▲九分通りまで漕付けて敗れる恐ある日用心東と西と北が吉
▼一白▲我慢を押通さうとすると意外な失敗を招く良と東と坤が吉
▼二黒▲撓まず進んで好結局は大成功に終る日良と西と丙が吉
▼三碧▲口舌を持込まれ易い日常識を守つて利南と東と壬が吉
▼四綠▲どう串避つても損失となる日西と丙南と壬と丙が吉

一月七日

(舊暦十一月二十三日)
▲六白▲丙申▲先負▲危▲木曜▲宿

▼六白▲遂逃して七幾度を取り外し易い進んで利西と北と南が吉
▼七赤▲大胆を勇てる旅行企謀上吉西と北と南が吉
▼八白▲元氣旺な日何事によらずすら〳〵と捗る良と北と丙が吉
▼九紫▲調子に乗過ぎると不覺を取る内に守つて利東と西と北が吉
▼一白▲謀事成就日頃の願ひことは叶ふ醫師を戒む庚と東と坤が吉
▼二黒▲表面はよく實際は損に終る日盜難火物用心良と西と丙が吉
▼三碧▲例令苦しくても後日の爲と思つて辛抱せよ南と南と壬が吉
▼四綠▲無駄骨を折る日新しい企ては駄目辛抱一南と良と坤が吉
▼五黄▲自己の力以上の大望も成功疑ひなき日西と日良と北が吉

●地方事業

最も確實にして不景氣なく利益あり永久繼續の事業木に適する簡單なる仕事にて婦人子供にも容易●製品永久買受契約す案内書呈(郵券)大阪市浦江町五〇九

ミヤコ合資會社 電話土佐堀二八六七番

參天セキ藥

三日分五十錢、七日分壹圓 送料各二錢 信用ある各地の藥店にあり

衛生相談部に就て

我社衛生相談部は醫學博士小田俊三先生擔任の下に無料で呼吸器病は勿論總ての病氣並に一般保健衛生上の御質問に應答致します 御質問は相談部宛封書で願ひます

大阪市北濱一丁目 參天堂株式會社

一 寒氣と共に 氣管枝加答兒 喘息 百日咳 肺結核 感冒等の呼吸器病のセキとタンに惱む人が非常に多くなりました

二 これらの苦惱は純學理に立脚して新しい使命を以て生れ出た參天セキ藥によつて苦もなく救ふ事が出來るのであります

三 參天セキ藥は如何に頑固なセキにも確信を以て推奬し得る家庭新藥でありまして現在醫界の賞用盛んなる鎭咳袪痰新藥サンロイドとその集成を同じくするものであります

四 サンロイドは我社研究部が瀬良醫學博士指導の下に創見し、諏訪、大野、青山の三醫學博士を始め多數臨床醫家の實驗推奬を得たものでありますから之と同一集成の參天セキ藥は家庭治療藥として最も進歩したものであります

五 臨床醫學界に於ける權威ある多數大家の臨床實驗報告書及び説明書を無料送呈致します

特長 參天セキ藥がモルヒネ、コデイン等の麻醉剤、または吐根、ゼネガの如きサポニン剤と異り全く副作用無く而も一剤にて能く鎭咳と袪痰の兩目的を達する事は本剤創見の要點であります

謹賀新年

東京 星製藥株式會社
朝鮮 星製藥總元賣捌所
同 星製藥市郡元賣捌所
同 星製藥特約店一同
同 星同窓會員一同

一 昨年は世間一般の不景氣に加へて、我々には更に阿片事件、惡宣傳と云ふ二つの餘分のものを背ひ、極めて困窮の裡にあつたに拘らず、我々の協力的努力は御同情下され、低温工業は債務に一方ならぬ御後援を寡り誠に難有感謝し奉ります。

二 假令、事件が起り、惡宣傳があつたにせよ、其の影響を受くるは自己に缺點のある所以であります。其缺點があつては折角の御後援に酬ゆることも出來ない譯でありますので、私共は其困窮から して、幸ひに組織の缺點、經營の缺點、活動の缺點を悟り、それを改良致しまして、一同協力的努力をなして居ります。本年は其實績を擧げて以つて御禮を致す考へであります。

三 臺灣の阿片事件は星社長外二名起訴せられ、罰金と追徴金の裁決がありましたが、目下控訴中であります。元々阿片の處置たるや、一々官憲の諒解の下に致した事で、此事に就いては追つて皆さんの御安心を得る時機もあらうかと存じて居ります。
星社長は國家奉仕、社會奉仕を主眼として事業を經營して居りますので、此の阿片事件も事實上決して其の主義に背いたものでなく、まして臺灣阿片令違反などの意思は雇毫もなかつたことを御含み置き下さらんことを願上奉ります。

四 私共ホシの一族は星社長を家長に仰ぎ、親切第一を主義として營利事業を經營しつゝ、社會奉仕をせんことに努力して居ります。
我々は生れて尚十六歳に過ぎず、我が國の製藥會社として、弱年ではありますが、協力一致社會奉仕をせんとする念願の一端が達せられて、今や聊か社會に其努力を認識せらるゝに至りましたのは偏に皆さんの厚き御同情に外ならぬのであります。
左に吾々の努力の一端を御同情に對する御禮として擧げますれば
一、賣藥改良の卒先者となつたことであります。
醫師、藥劑師を置き、研究室を設けて賣藥を製造し、その製造工場を、公衆は勿論同業者にも公開して居ります。
その工場は立派な類のない工場と、外國に迄も知らるゝに至りました。
二、モルヒネ、コカイン、キニーネ等の植物性藥品の卒先製造者であります。
キニーネの如きは年々輸出を増し、昨年は倫敦、紐育より二百萬に達するの註文を受けました。
三、南米に藥草園を持ち、臺灣にも數ケ所に藥草園を持ち、ジヤバとの連絡を保つて、原料の自給を計つて居ります。
四、歐羅巴大戰の結果、藥品暴騰の際、政府は製藥奨勵法を設け生産者に二百萬圓の補助金を與へ、今尚同額の低利資金を貸して居りますが、本社は一文の補助金も貰ひません、又二厘の低利資金も借りて居りません。然るに兎に角日本の製藥工業を海外に迄知らしむることが出來ましたのは、總ゆる愛國心と、貢獻に滿ちたる社會奉仕の下にホシの家族一同が協力的努力を致しました結果ではありますが、又皆さんの厚き御同情がなかつたなら、斯くは進歩し能はざる處でありませう。
然し私共は決して斯かる事にて滿足するものではありませんから何卒暫く時を藉して下さい。
五、冷凍發明を實施せんとしました低温工業は、阿片事件と惡宣傳の二つの障碍に依つて其の成功を阻害せられましたが、是又暫く御辛棒願上げます。本年中にはその一部を實行致して賞讃に預りたいと存じて居ります。
メッキは直ぐ剝げますが、純金は一時くすぶつても錆も無く光を放つものであります。
六、星社長は製造業即ち金儲と人物養成とを兼行して居ります。米國の大工場の成功は、製造能率の成功にありと云ふ成功にあらずして、販賣能率の成功にありと迄申されて居ります。
星製藥商業學校の卒業生は四千七百名に達して居ります。今回の困窮を自治的に解決して行けたのも畢竟學校の力であります。
學校の新講堂も完成致しましたから、新學生の養成に勉め、社會奉仕の現役兵を増加いたします。

五 私共は星社長より自助的活動を學びました、協力的活動を學びました、科學的經營法を學びました。
今回の組織を改善しての結果、配給所を活動組織の主體とし、配給所と特約店とが一心同體となつて、活動することに改め、我々の協力的活動が、自治的に進むことになりました。
今や販賣費用の節約と活動能率の增進とは、品質を一層改良し、價格を一層低廉にすることが出來ることになりました。
尚、一時七人と云ふ多數の外國技師を雇ふて研究して來ました藥品もこれから製造致しまして皆さんの御滿足を買ふ考へで有ます

六 過去長き間の厚き御後援に酬ゆる爲めに、私共は本年から一層努力致す所存であります。
私共の働きは皆さんの御滿足に副ふことが出來ませんければ、其の目的を達し得ないのでありますから、私共は日夜其の事を苦にして居ります。
何卒私共の働きは事の大小に拘はらず、惡い處がありましたら、厘毫の御許しなく御叱り下さる様御願ひ申上げます。
私共には未だ〳〵澤山惡い處があると思ひます。それを直して下さるのは私共が皆さんに捧げる奉仕に對して、皆さんが私共に與へ下さる奉仕と御思召して私共の働きを御批評御指導下さる様吳れ吳れも御願ひ申上げます。

七 謹んで新年を賀し、平素の御厚情を感謝し、皆さんの御健康と御繁榮を祈奉ります。

拜具

『俺ならかうする』

御教へ下さい、御禮いたします

星一

一 私は自己の徳足らず、才短きを知つて居りますが、努力は缺點を補ふと信じ、現在の事業に努力して居ります。
二 私は常に自己の足らざる事を嘆いて居るものであります。
三 私の働き振りを御覧下さいまして、『俺ならかうする』がと御思召の點がありましたらそれが當社の經營の事、活動の事、商品の事、廣告の事、特約店の事その他なんでも御忌憚なき御意見を御知らせ下さらん事願上げます。
四 その中で成程これは適切だ、尤もの御意見だと思はるゝものに對しては、充分御手數に酬ゆる事は出來ませんでも聊か御禮として薄謝を差上げます。
五 何卒私の微衷を御了察下され、奮つて御指示の程願上げます。宛所は東京大崎星製藥株式會社 星一に願上げます。